

シグマ研究委員会
ガンマ線生成核データWG
昭和59年度 第1回会合議事録

1. 日 時 昭和59年6月22日(金) 13:30~17:30
2. 場 所 原研本部 第6会議室
3. 出席者 水本, 五十嵐, 浅見(哲)(原研), 肥田, 山室(NAIG),
山越(船研), 井頭, 播磨, 北沢(東工大)
4. 配布資料
 - (1) List of Alloted Task for JENDL-3 Data Evaluation(浅見)
 - (2) GNASH INPUT DESCRIPTION(浅見)
 - (3) ^{23}Na のガンマ線生成断面積の計算(山越)
5. 議 事
 - (1) 浅見(哲)氏から資料(1)により, 原研委託も含めて, JENDL-3 に含まれるすべてのガンマ線生成核データの評価担当者が示された。但し, Tiについては小林捷平氏の了解をとることにした。
 - (2) 八谷雅典氏にガンマ線生成核データW.G.に加わってもらうように要請することにした。
 - (3) 浅見(哲)氏から, 資料(2)により, GNASHの new version について説明があった。
 - (4) ^{93}Nb , ^{nat}Mo , ^{238}U のガンマ線生成核データ評価報告書(JAERI-memo 59-082)について水本, 肥田氏から説明があり, 残された問題点について議論がなされた。
 - (5) 山室氏から CASTHYと NGROGI による Taのガンマ線スペクトルの計算と実験との比較がなされた。両者の一致はかなり良いことが示された。

(6) ^{23}Na , Si , ^{27}Al , Fe について, 今年度の作業計画と現在の進行状況が話された。